

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]40社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント

（判断D、I。） 計表中の2025年12月以降の計数は、2026/3月調査対象企業見直し後の新ベース。 （ ）内は前回調査時予測

	2025/3月	6月	9月	12月	2026/3月	6月	2026/9月 までの予測
業況判断 ＜ 良 い - 悪 い ＞	11	15	13	10	5	(-5) 5	3
うち製造業	0	12	12	0	-12	(12) 0	25
非製造業	14	17	14	12	9	(-10) 6	-4
国内での製商品・サービス需給 ＜ 需要超過 - 供給超過 ＞	-6	-3	-2	-8	-13	(-13) -16	-15
製商品在庫水準 ＜ 過大 - 不足 ＞	4	7	0	-4	0	-4	
生産・営業用設備 ＜ 過剰 - 不足 ＞	-8	-8	-8	-10	-10	(-10) -8	-11
雇用人員 ＜ 過剰 - 不足 ＞	-45	-47	-51	-59	-46	(-49) -45	-53
資金繰り ＜ 楽である - 苦しい ＞	5	8	5	-5	5	0	
金融機関の貸出態度 ＜ 緩い - 厳しい ＞	20	20	14	17	15	14	
借入金利水準 ＜ 上昇 - 低下 ＞	72	45	38	29	65	(47) 56	65
販売価格 ＜ 上昇 - 下落 ＞	39	39	41	43	36	(38) 48	50
仕入価格 ＜ 上昇 - 下落 ＞	61	61	46	65	64	(77) 73	78

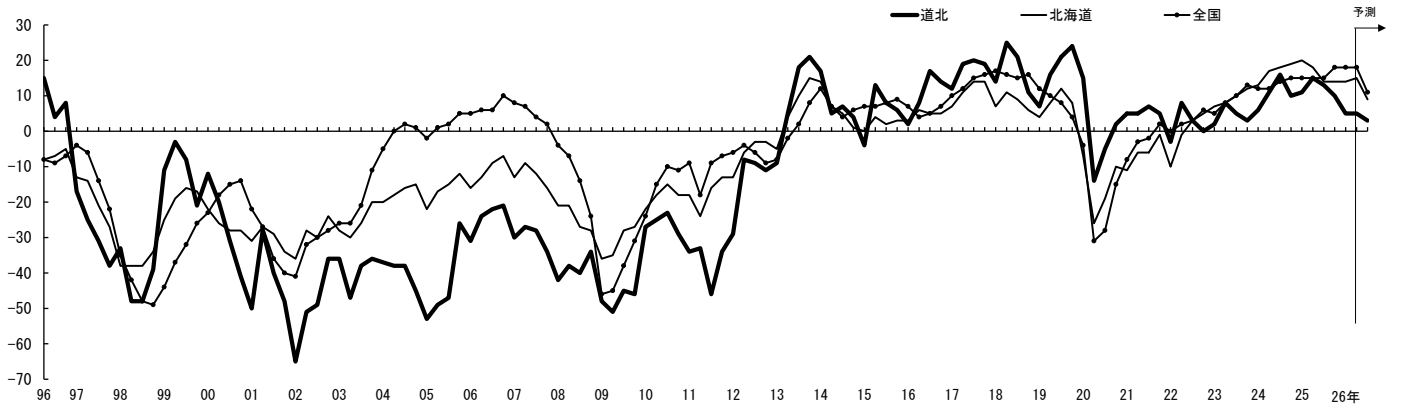
全産業、前年度比%、
＜ ＞内は前回調査比修正率%

（事業計画）

	2024年度実績	2025年度実績	2026年度計画			
			上期		下期	
売上高	-2.5	-5.3 < -1.7 >	-1.6 < -2.5 >	0.3 < -3.2 >	-3.3 < -1.8 >	
経常利益	-11.7	-8.8 < 20.2 >	-19.7 < 4.4 >	-31.8 < -3.9 >	-10.6 < 9.7 >	
当期純利益	-24.9	-67.2 < -40.1 >	2.7倍 < -1.7 >	88.0 < -13.5 >	3.4倍 < 6.4 >	
設備投資額	-17.9	18.7 < 1.1 >	-40.4 < -25.6 >			

2026年6月短観・調査結果

業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2025年12月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2026年6月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 40 社（製造業 8 社、非製造業 32 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 40 社）
- 回答期間：2026年5月28日～6月30日

1. 業況判断 DI

- 6月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+5 となり、前回3月調査から不変（前回+5、前回比0）。
 - 製造業の業況判断 DI は、0 と前回調査比改善（同-12、同+12）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+6 と前回調査比悪化（同+9、同-3）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、+3 との予測（6月実績+5⇒9月までの予測+3）。
 - 製造業は改善（同0⇒+25）を見込み、非製造業は悪化（同+6⇒-4）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過-供給超過>」（前回調査-13⇒今回調査-16）は、供給超幅が拡大した。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過大-不足>」（同0⇒-4）は、過不足なしから不足超となった。
- 「生産・営業用設備判断 DI<過剰-不足>」（同-10⇒-8）は、不足超幅が縮小した。
- 「雇用人員判断 DI<過剰-不足>」（同-46⇒-45）は、不足超幅が縮小した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である-苦しい>」（同+5⇒0）は、楽である超から楽であると苦しいが同じ0になったほか、「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い-厳しい>」（同+15⇒+14）は、緩い超幅が縮小した。この間、「借入金利水準判断 DI<上昇-低下>」（同+65⇒+56）は、上昇超幅が縮小した。
- 価格面についてみると、「販売価格判断 DI<上昇-下落>」（同+36⇒+48）
「仕入価格判断 DI<上昇-下落>」（同+64⇒+73）はともに上昇超幅が拡大した。

3. 事業計画

- 2025 年度の実績は、売上高は前年度比－5.3%、経常利益は同－8.8%、当期純利益は同－67.2%、設備投資額は同＋18.7%となっている。売上高および当期純利益は前回調査から下方修正され、経常利益および設備投資額は前回調査から上方修正された。
- 2026 年度の計画は、売上高は前年度比－1.6%、経常利益は同－19.7%、当期純利益は同 2.7 倍、設備投資額は同－40.4%となっている。売上高、当期純利益および設備投資額は前回調査から下方修正され、経常利益は前回調査から上方修正された。

以 上